

湯の郷苑小規模多機能型居宅介護事業所

第 5 回 運営推進会議報告書

事業所名：湯の郷苑 小規模多機能型居宅介護事業所

サービス種類：☐グループホーム ・ ☒小規模多機能型居宅介護

☐地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

☐地域密着型通所介護 ・ ☐認知症対応型通所介護 （該当に☒）

日 時：令和 6 年 12 月 27 日（金）14：00～15：00

場 所：湯の郷苑 だんらん

出席者：

利用者代表	0 名	知見を有する者	1 名
利用者家族	1 名	大田市職員	1 名
地域住民の代表	1 名	その他	名
事業所職員			1 名

（１）利用者の状況

① 登録者数

R6. 10 月末	登録者数	15 人	R6. 11 月末	登録者数	15 人
	男女比	5：10		男女比	5：10

② 地域別登録者数 （R6. 11 月末）

温泉津町	13 名
大代町	1 名
静間町	1 名

③ 要介護度別 （R6. 11 月末時点）

申請中	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
名	1 名	1 名	3 名	9 名	1 名	0 名	0 名

④ 生活状況 (R6. 11 月末時点)

世帯	人数	内容
同居	1 名	県外に住む 3 姉妹が 1 か月交代で帰省し介助
	5 名	子供同居
	1 名	夫と同居
独居	2 名	近所に子や親せきがあり支援がある
	3 名	家族は市外、県外在住
宿泊	3 名	

⑤ 年齢別 (R6. 11 月末時点)

65 歳未満	65 歳以上 75 歳未満	75 歳以上 85 歳未満	85 歳以上 95 歳未満	95 歳以上	平均年齢
0 名	1 名	1 名	10 名	3 名	89.0 歳

⑥ 利用回数 (R6. 10 月分)

	利用回数 (延べ)	一人平均 (回)	一日平均 (回)
通い	2 5 6 回	17. 0 回	8. 2 回
宿泊	1 4 6 回	9. 7 回	4. 7 回
訪問	8 7 回	5. 8 回	2. 8 回
全サービス (一人当たり)		7. 3 (登録者延数 4 6 5)	

利用回数 (R6. 11 月分)

	利用回数 (延べ)	一人平均 (回)	一日平均 (回)
通い	2 3 9 回	1 5. 9 回	7. 9 回
宿泊	1 2 3 回	8. 2 回	4. 1 回
訪問	8 4 回	5. 6 回	2. 8 回
全サービス (一人当たり)		7. 1 (登録者延数 4 3 4)	

- ・ 長期宿泊者…3 名 (内 1 名は 11/14～入院)
- ・ 男性利用者 様は、ご家族が不在になる為毎月 4.5 日の泊りを希望しておられる。10 月の計画はあったが、体調不良にて利用されず。11 月は訪問希望にて実施。

1. 議題

①活動状況報告

- R6. 10 月（委員会） 安全衛生委員会、感染症対策委員会
身体拘束廃止委員会、虐待防止委員会、事故防止委員会
令和 6 年度第 4 回運営推進会議
- （指 導） 大田市介護保険課による実地指導
- （行 事） 運動会
- （研 修） 事故防止研修（外部講師を迎え全職員対象、湯の郷苑にて実施）
「介護サービスにおける危険予知トレーニング研修」
令和 6 年度島根県介護支援専門員協会管理者向け研修
（管理者参加 松江市にて）
「ハラスメント研修」
- R6. 11 月（委員会） 安全衛生委員会
身体拘束廃止委員会、虐待防止委員会
- （行 事） 文化祭出展と見学
夜間想定防火訓練
（近隣の自治会長や消防団への参加声掛けを行い、法人全体としての防火訓練実施。西部消防署員立ち会いあり。）
紅葉ドライブ
- （研 修） 救急救命研修（西部消防署員指導のもと法人内で実施）
感染症研修（外部講師を迎え全職員対象、湯の郷苑にて実施）
BCP に伴う実地指導を受け、感染予防等の対する講義を受ける

②感染症の取り組み

マニュアル作成後それに基づき感染対策を行っております。小規模感染予防のチェックリストは事業所用と職員用のものを毎日記録し、感染防止の徹底を行っています。面会希望の時は健康状態を確認し、健康であれば、換気しながら部屋で時間 15 分間厳守し、行う。

③通院支援（R6. 10 月、11 月分合計）

受診送迎・受診同席	3 回
-----------	-----

④事故報告

令和 6 年 10 月（1 件）
① 受診予定があったが、昼食薬を渡す事を忘れており、服用する事が出来なかった。
→渡し忘れがないように、周知徹底、確認を行う。
受診に出かける際は夜勤者へ送付を行い、早番が渡す。
令和 6 年 11 月（2 件）
① 夜間の転倒。ベッドセンサーが鳴ったのでモニターを確認すると服を着られる所であり、職員が向かう途中、床センサーが鳴り、居室から出て来られる。2.3 歩かれたところで左前方に巻き込むように倒れかける。職員の介助が間に合わず背後からの介助になり支えきれず転倒。
→ベッドセンサーが鳴ったら、すぐに本人の所へ行き、本人の状況確認をする。
夜間は P トイレを活用。
身体機能低下をしないように歩行訓練、動く機会を日中に作る。
② 服薬介助ミス。本人が座っておられるテーブルの下に朝食後薬が落ちていた。
→服薬方法として、カップに入れて服用してもらう。

⑤ヒヤリハット報告

令和 6 年 10 月（1 件）
① 昼食を食べ終り、昼食後薬の対応をと思い本人の所へ行くと膳の上に昼の薬と書いてある空袋があり、既に服用されていた。来所時に確認をしたが、その際には確認で

きず。
複数持参されていたようであり、別の場所から出してこられていた。
→朝の来所に服薬を持参されていないか、聞き取り荷物確認を行う。
昼食時、本人の行動の確認、食後すぐに服薬をしてもらうように対応する。
令和6年11月（1件）
入浴予定者の血圧が高めだったが、元々血圧は高めであり、以前も当日同等の値で
入浴されたことがあったと思い入浴を実施の方向で風呂担当職員に伝えた。
血圧160あり、数値が下がらず170～180以上となり、入浴は中止となった。
→入浴の判断を職員の思いで行わず、必ず看護師に確認を行う。
主治医へケアマネより確認し、入浴可能な血圧の数値の指示書を提示してもらう。
職員は周知徹底を行い、対応に当たる。

⑥ 苦情報告 1件

市役所より連絡あり、職員より匿名で事業所の職員の言動についてハラスメントに当たるのではないかと話があったとの事。

→連絡を入れられた職員と他の職員との間に発言等についてお互いが厳しい面がみられていたこともあり、事業所内でも対応の検討を行い、お互いから話を聞いたり、ハラスメントについての研修の検討を行っている旨を伝えたえ、連絡を入れられた職員へ行政より返答されている状況を伝える。

⑦ 今後の活動予定

R6.12月（委員会）安全衛生委員会

身体拘束廃止委員会、虐待防止委員会

令和6年度第5回運営推進会議

（行事）忘年会

（研修）島根県主催による虐待防止研修（ズーム参加 全職員対象）

介護員 1 名参加、研修後、事業所内職員に伝達講習
地域ケア会議
島根県ケアマネージャー研修大会

R7. 1 月（委員会） 安全衛生委員会、感染対策委員会
身体拘束廃止委員会、虐待防止委員会、事故防止委員会
（行 事）新年会
（研 修） パワハラスメント研修
外部講師または苑内で研修予定、全職員対象にて実施

2. 意見、要望等

市職員より

過少サービスとなっていないが、一人一人のサービス利用状況はどうなっているのか。

→本人の希望にて週 3 回のサービスとなっている利用者の方もいるが、本人や家族の希望もあり、状況に応じてサービス調整や変更を行うようにしていることを伝え、本人の希望ということであればよいとの返答あり。

次回の予定

令和 6 年度 第 6 回運営推進会議

令和 7 年 2 月 21 日（金）14:00～

次回は 2/28 の予定であったが、年度最終回ということもあり、出来る限り多くの方に出席をしてもらいたいという意見であり、予定変更となる。